

# 平成29年度 財政状況資料集

## 総括表（市町村）

都道府県名	茨城県		市町村類型	I - 2		指定団体等の指定状況		区分		平成29年度(千円)	平成28年度(千円)	区分		平成29年度(千円・%)	平成28年度(千円・%)																																																																																																																																																	
						財政健全化等	×	歳入総額	13,497,315			15,050,979	実質収支比率			16.2	12.4																																																																																																																																															
市町村名	潮来市		地方交付税種地	2-2		財源超過	×	歳出総額	12,217,091	13,509,773	経常収支比率	92.5	94.7																																																																																																																																																			
						首都	×	歳入歳出差引	1,280,224	1,541,206	(※1)	(98.2)	(99.8)																																																																																																																																																			
						近畿	×	翌年度に繰越すべき財源	90,163	622,133	標準財政規模	7,368,593	7,416,773																																																																																																																																																			
						中部	×	実質収支	1,190,061	919,073	財政力指数	0.50	0.49																																																																																																																																																			
人口	27年国調(人)	29,111	産業構造(※5)			単年度収支	270,988	-1,116,985	公債費負担比率	13.1	11.7																																																																																																																																																					
	22年国調(人)	30,534				積立金	599	1,313	健全化判断比率																																																																																																																																																							
	増減率(%)	-4.7				山振	×	0	0	実質赤字比率	-	-																																																																																																																																																				
住民基本台帳人口(※7)	30.01.01(人)	28,641	区分	27年国調	22年国調	低開発	×	積立金取崩し額	132,297	77,422	連結実質赤字比率	-	-																																																																																																																																																			
	うち日本人(人)	28,317		第1次	537	675	指数表選定	×	実質単年度収支	139,290	-1,193,094	実質公債費比率	7.6	6.3																																																																																																																																																		
	29.01.01(人)	28,981	第2次		3.9	4.7	基準財政収入額	3,098,928	3,017,180	資金不足比率(※4)	52.1	48.7																																																																																																																																																				
	うち日本人(人)	28,668		第3次	4,255	4,504	基準財政需要額	6,125,395	6,164,072																																																																																																																																																							
	増減率(%)	-1.2	8,996		9,239	標準税収入額等	3,915,928	3,808,611																																																																																																																																																								
	うち日本人(%)	-1.2	65.2	64.1	経常経費充当一般財源等	6,871,051	7,123,154																																																																																																																																																									
	面積(km <sup>2</sup> )	71.40			歳入一般財源等	9,519,351	10,754,862																																																																																																																																																									
	人口密度(人/km <sup>2</sup> )	408																																																																																																																																																														
世帯数(世帯)	10,547																																																																																																																																																															
職員の状況(※8)																																																																																																																																																																
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等(※6)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高	11,791,128	11,825,883																																																																																																																																																					
	市区町村長	1	5,488		一般職員	203	651,833	3,211	うち公的資金	6,983,512	7,066,259																																																																																																																																																					
	副市区町村長	1	6,080		うち消防職員	-	-	-	債務負担行為額(支出予定額)	1,134,711	1,013,137																																																																																																																																																					
	教育長	1	5,500		うち技能労務職員	7	21,049	3,007	収益事業収入	-	-																																																																																																																																																					
	議会議長	1	3,270		教育公務員	6	16,740	2,790	土地開発基金現在高	-	-																																																																																																																																																					
	議会副議長	1	2,790		臨時職員	-	-	-	積立金現在高	2,300,823	2,432,521																																																																																																																																																					
	議会議員	14	2,590		合計	209	668,573	3,199	減債基金	288,749	288,632																																																																																																																																																					
						ラスバイレス指数		97.8		その他特定目的基金	3,703,324	3,672,380																																																																																																																																																				
	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">一般会計等の一覧</th> <th style="width: 10%;">会計名</th> <th style="width: 10%;">事業会計の一覧</th> <th style="width: 10%;">会計名</th> <th style="width: 10%;">公営企業(法適)の一覧</th> <th style="width: 10%;">会計名</th> <th style="width: 10%;">公営企業(法非適)の一覧</th> <th style="width: 10%;">会計名</th> <th style="width: 10%;">関係する一部事務組合等一覧</th> <th style="width: 10%;">組合等名</th> <th style="width: 10%;">地方公社・第三セクター等一覧</th> <th style="width: 10%;">団体名</th> <th style="width: 10%;">(※3)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1) 一般会計</td> <td></td> <td>(2) 潮来市国民健康保険特別会計</td> <td></td> <td>(5) 潮来市水道事業会計</td> <td></td> <td>(7) 潮来市下水道事業特別会計</td> <td></td> <td>(9) 茨城県市町村総合事務組合(一般会計)</td> <td></td> <td>(19) 潮来市開発公社</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>(3) 潮来市介護保険特別会計</td> <td></td> <td>(6) 潮来市工業用水道事業会計</td> <td></td> <td>(8) 潮来市農業集落排水事業特別会計</td> <td></td> <td>(10) 茨城県市町村総合事務組合(県民交通災害共済特別会計)</td> <td></td> <td>(20) いたこ</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>(4) 潮来市後期高齢者医療特別会計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(11) 茨城租税債権管理機構(一般会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(12) 茨城県後期高齢者医療広域連合(一般会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(13) 茨城県後期高齢者医療広域連合(後期高齢医療特別会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(14) 鹿行広域事務組合(一般会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(15) 鹿行広域事務組合(養護老人ホーム事業特別会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(16) 鹿行広域事務組合(消防特別会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(17) 鹿行広域事務組合(火葬場事業特別会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(18) 鹿行広域事務組合(審査会特別会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>																一般会計等の一覧	会計名	事業会計の一覧	会計名	公営企業(法適)の一覧	会計名	公営企業(法非適)の一覧	会計名	関係する一部事務組合等一覧	組合等名	地方公社・第三セクター等一覧	団体名	(※3)	(1) 一般会計		(2) 潮来市国民健康保険特別会計		(5) 潮来市水道事業会計		(7) 潮来市下水道事業特別会計		(9) 茨城県市町村総合事務組合(一般会計)		(19) 潮来市開発公社					(3) 潮来市介護保険特別会計		(6) 潮来市工業用水道事業会計		(8) 潮来市農業集落排水事業特別会計		(10) 茨城県市町村総合事務組合(県民交通災害共済特別会計)		(20) いたこ					(4) 潮来市後期高齢者医療特別会計						(11) 茨城租税債権管理機構(一般会計)													(12) 茨城県後期高齢者医療広域連合(一般会計)													(13) 茨城県後期高齢者医療広域連合(後期高齢医療特別会計)													(14) 鹿行広域事務組合(一般会計)													(15) 鹿行広域事務組合(養護老人ホーム事業特別会計)													(16) 鹿行広域事務組合(消防特別会計)													(17) 鹿行広域事務組合(火葬場事業特別会計)													(18) 鹿行広域事務組合(審査会特別会計)					
	一般会計等の一覧	会計名	事業会計の一覧		会計名	公営企業(法適)の一覧	会計名	公営企業(法非適)の一覧	会計名	関係する一部事務組合等一覧	組合等名	地方公社・第三セクター等一覧	団体名	(※3)																																																																																																																																																		
(1) 一般会計		(2) 潮来市国民健康保険特別会計		(5) 潮来市水道事業会計		(7) 潮来市下水道事業特別会計		(9) 茨城県市町村総合事務組合(一般会計)		(19) 潮来市開発公社																																																																																																																																																						
		(3) 潮来市介護保険特別会計		(6) 潮来市工業用水道事業会計		(8) 潮来市農業集落排水事業特別会計		(10) 茨城県市町村総合事務組合(県民交通災害共済特別会計)		(20) いたこ																																																																																																																																																						
		(4) 潮来市後期高齢者医療特別会計						(11) 茨城租税債権管理機構(一般会計)																																																																																																																																																								
								(12) 茨城県後期高齢者医療広域連合(一般会計)																																																																																																																																																								
								(13) 茨城県後期高齢者医療広域連合(後期高齢医療特別会計)																																																																																																																																																								
								(14) 鹿行広域事務組合(一般会計)																																																																																																																																																								
								(15) 鹿行広域事務組合(養護老人ホーム事業特別会計)																																																																																																																																																								
								(16) 鹿行広域事務組合(消防特別会計)																																																																																																																																																								
								(17) 鹿行広域事務組合(火葬場事業特別会計)																																																																																																																																																								
								(18) 鹿行広域事務組合(審査会特別会計)																																																																																																																																																								

(注釈) ※1: 経常収支比率の( )内の数値は、「減収補填債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。  
 ※2: 各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。  
 ※3: 地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。  
 ※4: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。  
 ※5: 産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。  
 ※6: 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「1人あたり給料月額(百円)」を「アスタリスク(\*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)。  
 ※7: 人口については、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。  
 ※8: 職員の状況については、地方公務員給与実態調査に基づくものであるが、当該資料作成時点(平成31年1月末時点)において平成30年調査結果が未公表であるため、前年度の数値を引用している。

(1) 普通会計の状況(市町村)

歳入の状況(単位:千円・%)				地方税の状況(単位:千円・%)			
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比
地方税	3,139,977	23.3	3,138,041	44.9	普通税	3,128,297	99.6
地方譲与税	176,035	1.3	176,035	2.5	法定普通税	3,128,297	99.6
利子割交付金	4,842	0.0	4,842	0.1	市町村民税	1,543,937	49.2
配当割交付金	14,697	0.1	14,697	0.2	個人均等割	49,293	1.6
株式等譲渡所得割交付金	14,606	0.1	14,606	0.2	所得割	1,281,158	40.8
分譲課税所得割交付金	-	-	-	-	法人均等割	73,068	2.3
道府県民税所得割臨時交付金	-	-	-	-	法人税割	140,418	4.5
地方消費税交付金	460,541	3.4	460,541	6.6	固定資産税	1,289,138	41.1
ゴルフ場利用税交付金	32,426	0.2	32,426	0.5	うち純固定資産税	1,271,832	40.5
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	78,508	2.5
自動車取得税交付金	48,110	0.4	48,110	0.7	市町村たばこ税	216,714	6.9
軽油引取税交付金	-	-	-	-	鉱産税	-	-
地方特例交付金	12,425	0.1	12,425	0.2	特別土地保有税	-	-
地方交付税	3,311,158	24.5	3,022,897	43.2	法定外普通税	-	-
普通交付税	3,022,897	22.4	3,022,897	43.2	目的税	11,680	0.4
特別交付税	288,261	2.1	-	-	法定目的税	11,680	0.4
震災復興特別交付税	-	-	-	-	入湯税	9,744	0.3
(一般財源計)	7,214,817	53.5	6,924,620	99.0	事業所税	-	-
交通安全対策特別交付金	3,682	0.0	3,682	0.1	都市計画税	1,936	0.1
分担金・負担金	89,346	0.7	47	0.0	水利地益税等	-	-
使用料	104,274	0.8	16,316	0.2	法定外目的税	-	-
手数料	92,304	0.7	-	-	旧法による税	-	-
国庫支出金	1,655,703	12.3	-	-	合計	3,139,977	100.0
国有提供交付金(特別区財調交付金)	-	-	-	-			
都道府県支出金	795,010	5.9	-	-			
財産収入	61,904	0.5	50,774	0.7			
寄附金	61,706	0.5	-	-			
繰入金	416,773	3.1	-	-			
繰越金	1,541,206	11.4	-	-			
諸収入	286,422	2.1	-	-			
地方債	1,174,168	8.7	-	-			
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-			
うち臨時財政対策債	429,768	3.2	-	-			
歳入合計	13,497,315	100.0	6,995,439	100.0			

区分		平成29年度		平成28年度	
徴収率	現・計	98.8	96.4	98.9	95.8
(%)	年・計	98.8	96.6	98.8	96.0
		98.7	96.1	98.8	95.3

公営事業等への繰出		国民健康保険事業会計の状況	
合計	1,518,973	実質収支	-
下水道	600,266	再差引収支	-24,038
上水道	14,233	加入世帯数(世帯)	4,748
工業用水道	-	被保険者数(人)	8,324
交通	-	被保険者	保険税(料)収入額
国民健康保険	234,025	1人当り	国庫支出金
その他	670,449		保険給付費
			274

(注釈)  
 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、  
 単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

歳入の状況(単位:千円・%)					
目的別歳入の状況(単位:千円・%)					
区分	決算額(A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等	
議会費	128,486	1.1	-	128,486	
総務費	1,565,536	12.8	152,847	1,298,395	
民生費	4,007,667	32.8	58,638	1,940,035	
衛生費	1,134,637	9.3	139,248	949,744	
労働費	-	-	-	-	
農林水産業費	453,378	3.7	182,586	223,561	
商工費	142,815	1.2	13,370	111,354	
土木費	1,802,342	14.8	1,004,290	891,744	
消防費	522,374	4.3	12,660	497,945	
教育費	1,141,771	9.3	121,398	951,220	
災害復旧費	2,109	0.0	-	109	
公債費	1,315,976	10.8	-	1,250,597	
諸支出金	-	-	-	-	
前年度繰上充用金	-	-	-	-	
歳出合計	12,217,091	100.0	1,685,037	8,243,190	

性質別歳入の状況(単位:千円・%)					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	5,749,678	47.1	3,796,809	3,737,765	50.3
人件費	1,926,222	15.8	1,808,229	1,753,807	23.6
うち職員給	1,188,222	9.7	1,102,652	-	-
扶助費	2,507,483	20.5	737,986	733,364	9.9
公債費	1,315,973	10.8	1,250,594	1,250,594	16.8
元利償還金	1,315,973	10.8	1,250,594	1,250,594	16.8
うち元金	1,208,923	9.9	1,145,903	1,145,903	15.4
うち利子	107,050	0.9	104,691	104,691	1.4
一時借入金利子	-	-	-	-	-
その他の経費	4,780,267	39.1	4,068,983	3,133,286	42.2
物件費	1,876,434	15.4	1,549,007	1,355,140	18.3
維持補修費	54,287	0.4	52,488	52,488	0.7
補助費等	1,012,570	8.3	819,069	595,919	8.0
うち一部事務組合負担金	453,769	3.7	453,769	453,769	6.1
繰出金	1,504,740	12.3	1,333,793	1,129,739	15.2
積立金	316,136	2.6	311,626	-	-
投資・出資金・貸付金	16,100	0.1	3,000	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	1,687,146	13.8	377,398	-	-
うち人件費	44,537	0.4	44,537	-	-
普通建設事業費	1,685,037	13.8	377,289	-	-
うち補助	750,908	6.1	71,610	-	-
うち単独	920,479	7.5	304,229	-	-
災害復旧事業費	2,109	0.0	109	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	12,217,091	100.0	8,243,190	-	-



### (3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

人口	28,641	人(H30.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	28,317	人(H30.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	71.40	km <sup>2</sup>	実質公債費比率	7.6	%
歳入総額	13,497,315	千円	将来負担比率	52.1	%
歳出総額	12,217,091	千円	市町村類型	H25 I-1 H26 I-1 H27 I-2	
実質収支	1,190,061	千円	(年度毎)	H28 I-2 H29 I-2	
標準財政規模	7,368,593	千円			
地方債現在高	11,791,128	千円			

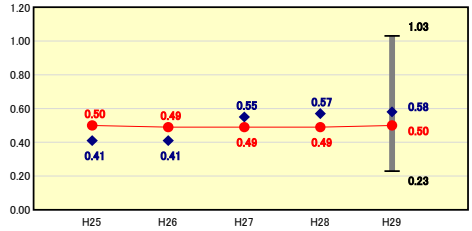


※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※平成30年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表示しない。  
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表示しない。  
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。  
 ※「定員管理の状況」及び「給与水準(国との比較)」は地方公務員給与実態調査に基づくものであるが、当該資料作成時点(平成31年1月末時点)において平成30年調査結果が未公表であるため、平成29年度の数値については、前年度の数値を引用している。  
 ※人口については、各調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。  
 ※類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成29年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

#### 財政力

財政力指数 [0.50]

類似団体内順位 42/73 全国平均 0.51 茨城県平均 0.70

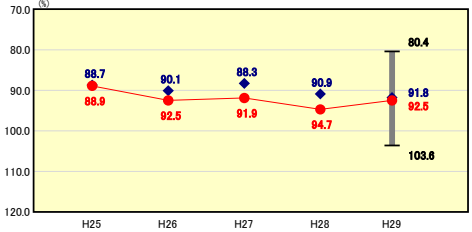


**財政力指数の分析欄**  
 類似団体と比較すると0.08ポイント低く、全国平均値とほぼ同様であるが、茨城県平均からは0.20ポイント低い指数となっている。平成29年度は、税収等の伸びに伴い基準財政収入額が増加したことで、財政力指数は前年度より高くなった。近年はほぼ横ばいの数値で推移しており、引き続き、税収の確保や企業誘致の推進等に努め、財政基盤の強化を図る。

#### 財政構造の弾力性

経常収支比率 [92.5%]

類似団体内順位 36/73 全国平均 92.8 茨城県平均 90.5

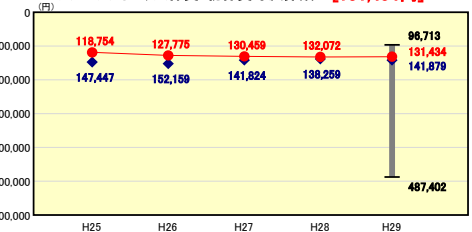


**経常収支比率の分析欄**  
 類似団体と比較すると0.7ポイント高く、茨城県平均と比較すると2.0ポイント高く、全国平均からは0.3ポイント低い指標となっている。平成29年度は、扶助費等が増加した一方で、税収が伸び、臨時財政対策債発行額も増加したため、経常収支比率は前年度より低い数値となった。今後も、社会保障関係経費の増加が見込まれるが、公債費の抑制に努める等、経常経費の削減を図る。

#### 人件費・物件費等の状況

人口1人当たり人件費・物件費等決算額 [131,434円]

類似団体内順位 32/73 全国平均 131,854 茨城県平均 116,751

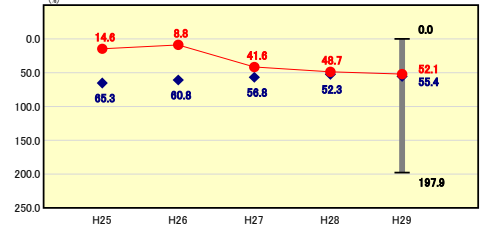


**人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄**  
 類似団体と比較すると10,455円低く、茨城県平均と比較すると14,683円高く、全国平均からは220円低い金額となっている。人件費については、定員管理計画に基づく職員数の削減を進めてきた効果は出ていると思われる。一方、物件費については、公共施設の維持管理に係る経費が上昇傾向にあり、今後も費用対効果を検証しながら、より効率的な事業の実施や施設の管理を行えるように努めていく。

#### 将来負担の状況

将来負担比率 [52.1%]

類似団体内順位 37/73 全国平均 33.7 茨城県平均 37.0

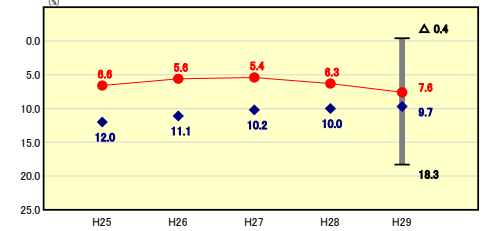


**将来負担比率の分析欄**  
 類似団体と比較すると3.3ポイント低く、茨城県平均と比較すると15.1ポイント高く、全国平均からは18.4ポイント高い比率となっている。平成28年度に都市計画税を廃止したことで、平成27年度の将来負担比率の算定から、都市計画税収入を見込まなくなったことにより、将来負担比率が高くなった。平成29年度は、財政調整基金残高の減少等から、平成28年度より将来負担比率が高くなった。今後も義務的経費の増加や、財政調整基金の減少が見込まれることから、施策の厳選や事務事業の見直し等により、財政の健全化に努める。

#### 公債費負担の状況

実質公債費比率 [7.6%]

類似団体内順位 17/73 全国平均 6.4 茨城県平均 6.8

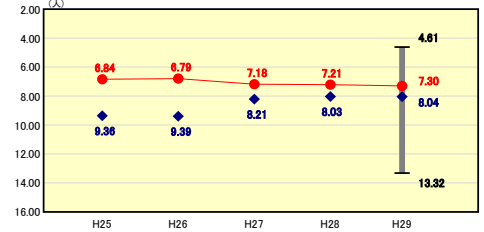


**実質公債費比率の分析欄**  
 類似団体と比較すると2.1ポイント低く、茨城県平均と比較すると0.8ポイント高く、全国平均からは1.2ポイント高い比率となっている。平成28年度に普通交付税の合併算定替えが終了し、平成29年度から一本算定となったことで、普通交付税交付額が減少したため、平成28年度より実質公債費比率が高くなった。今後も、地方債の新規発行の抑制に努めていく。

#### 定員管理の状況

人口千人当たり職員数 [7.30人]

類似団体内順位 21/73 全国平均 7.91 茨城県平均 6.85

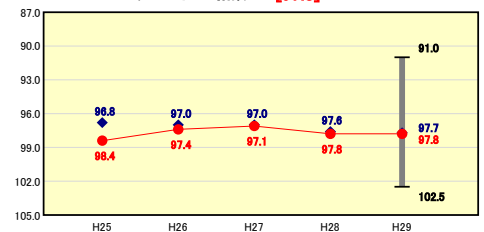


**人口千人当たり職員数の分析欄**  
 類似団体と比較すると0.74人少なく、茨城県平均と比較すると0.45人多く、全国平均からは0.61人少ない人数となっている。人口3万人弱の地方自治体としては、定員管理計画に基づいて職員数の抑制を行ってきた効果が出ていると思われる。今後の職員数については、ほぼ現状維持となる見込みである。定年退職者の人数と、新規採用者と再任用者を合わせた人数が、ほぼ同数となるように管理していく。

#### 給与水準(国との比較)

ラスパイレス指数 [97.8]

類似団体内順位 36/73 全国市平均 98.1 全国町村平均 96.4



**ラスパイレス指数の分析欄**  
 平成24年度は、国家公務員の臨時特別額措置により、100を超えた数値となっていたが、平成25年度以降はほぼ横ばいの推移となっている。類似団体と比較すると0.1ポイント高く、全国市平均と比較すると1.3ポイント状況である。今後も、職務・職責に応じた適正な給与体系の構築に努めていく。  
 ※平成29年度は、ラスパイレス指数未公表のため、前年度数値を引用。

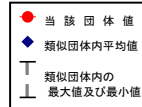
# (4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成29年度

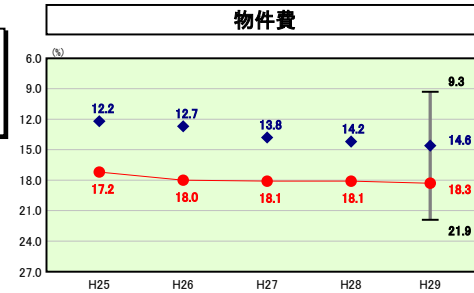
茨城県潮来市

## 経常収支比率の分析

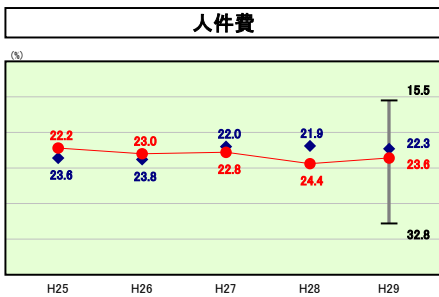
人口	28,641人	(H30.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	28,317人	(H30.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	71.40	km <sup>2</sup>	実質公債費比率	7.6	%
歳入総額	13,497,315	千円	将来負担比率	52.1	%
歳出総額	12,217,091	千円	市町村類型	H25 I-1 H26 I-1 H27 I-2	
実質収支	1,190,061	千円	(年度毎)	H28 I-2 H29 I-2	
標準財政規模	7,368,593	千円			
地方債現在高	11,791,128	千円			



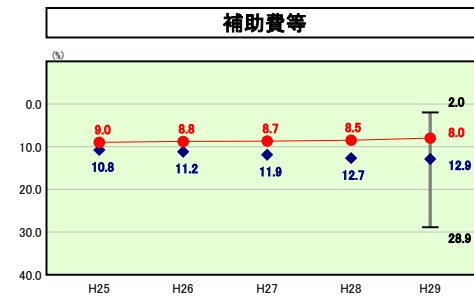
※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成29年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



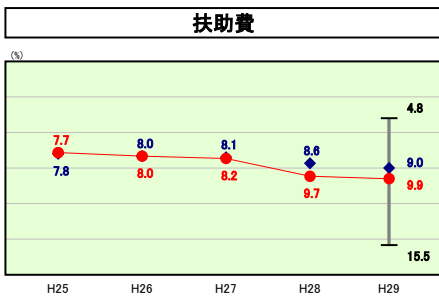
**物件費の分析欄**  
 類似団体と比較すると3.7ポイント高く、茨城県平均と比較すると2.9ポイント高く、全国平均からは3.8ポイント高い数値となっている。公共施設の維持管理に係る経費が上昇傾向にあり、中でも、市単独で管理している一般廃棄物処理施設の修繕等に多くの費用を要しており、その他の公共施設とともに、潮来市公共施設等総合管理計画に基づきながら、適正な維持管理に努める。



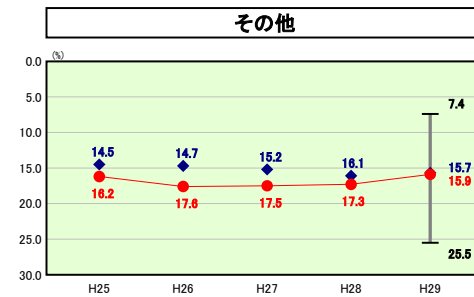
**人件費の分析欄**  
 類似団体と比較すると1.3ポイント高く、茨城県平均と比較すると1.2ポイント低く、全国平均からは2.0ポイント低い数値となっている。平成28年度の退職者数と平成29年度新規採用職員数は同人数であり、再任用職員がいるため職員数は増となったが、人件費の金額としては減少した。今後も適正な定員管理や階層別職員数の平均化等を進めていき、人件費の増加を抑制していく。



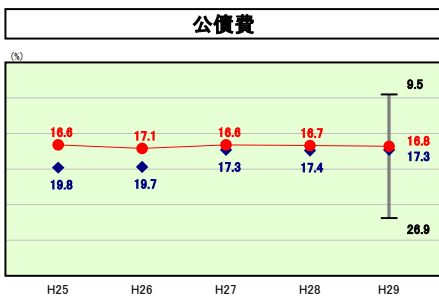
**補助費等の分析欄**  
 類似団体と比較すると4.9ポイント低く、茨城県平均と比較すると2.2ポイント低く、全国平均からは2.1ポイント低い数値となっている。補助金や負担金については、各審議会等で内容を精査し、適正な執行を図った結果が出ているものと思われる。今後も、補助金・負担金の適正化に努めていく。



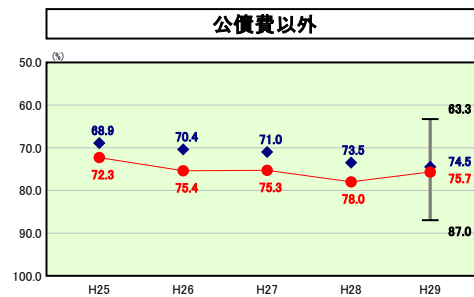
**扶助費の分析欄**  
 類似団体と比較すると0.9ポイント高く、茨城県平均と比較すると0.4ポイント低く、全国平均からは2.5ポイント高い数値となっている。障害者福祉費や保育所費が上昇傾向にあるが、扶助費は、法令等に基づくものがほとんどであり、容易に削減することが難しい経費であるため、審査や給付において、適正を見極めながら、経費の増加につながらないように努めていく。



**その他の分析欄**  
 類似団体と比較すると0.2ポイント高く、茨城県平均と比較すると1.1ポイント高く、全国平均からは2.6ポイント高い数値となっている。特別会計への繰出金に毎年、多くの費用が充てられており、平成29年度は、国民健康保険特別会計への財源対策分の繰出しが減少したが、依然、各特別会計への繰出金に多額の費用を要している。今後も、各会計の健全化に努めるとともに、一般会計の負担軽減を図っていく。



**公債費の分析欄**  
 類似団体と比較すると0.5ポイント低く、茨城県平均と比較すると1.8ポイント高く、全国平均からは0.1ポイント低い数値となっている。近年は、地方債の新規発行額を元利償還金額以内とする等、公債費の抑制に努めており、今後も、緊急性や優先順位を十分検討し、また、基金等も活用しながら、起債に大きく頼ることのない財政運営に努めていく。



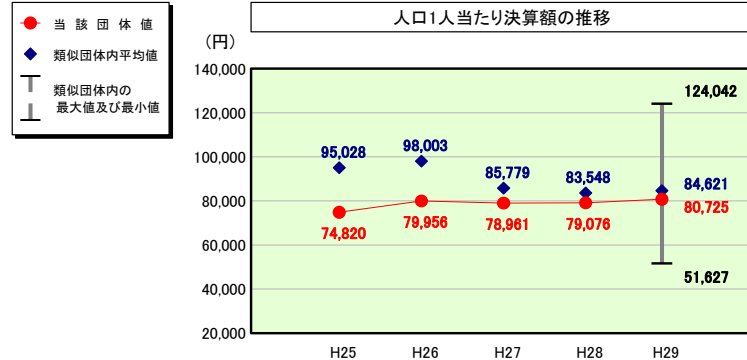
**公債費以外の分析欄**  
 公債費以外においては、定員管理による人件費の減や、障害者福祉費や保育所費による扶助費の増、一般廃棄物処理施設に係る物件費の増により、類似団体と比較すると1.2ポイント高く、茨城県平均と比較すると0.2ポイント高く、全国平均からは0.2ポイント低い数値となっている。今後も、適正な人員管理や事務事業の見直しにより、経常経費の削減に努めていく。

# (4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成29年度

茨城県潮来市

## 人件費及び人件費に準ずる費用の分析



(注) 人口については、各調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

(注) 参考については、地方公務員給与実態調査に基づくものであるが、当該資料作成時点(平成31年1月末時点)において平成30年調査結果が未公表であるため、前年度の数値を引用している。

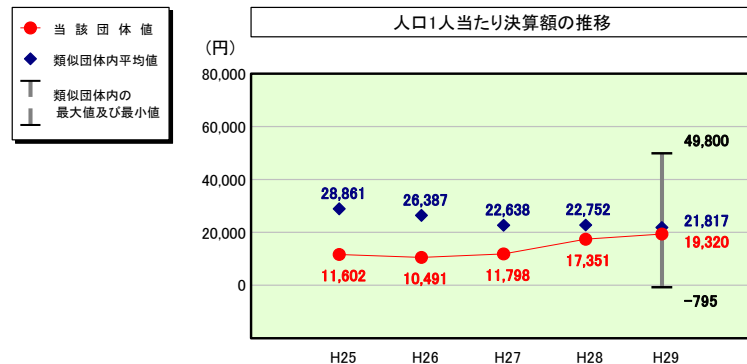
## 人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
人件費	1,926,222	67,254	69,000	▲ 2.5
賃金(物件費)	23,223	811	7,980	▲ 89.8
一部事務組合負担金(補助費等)	332,074	11,594	8,263	40.3
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	-	-	1,174	-
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	18	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	123,065	4,297	2,909	47.7
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	44,537	1,555	1,519	2.4
▲退職金	▲ 137,074	▲ 4,786	▲ 6,242	▲ 23.3
合計	2,312,047	80,725	84,621	▲ 4.6

## 参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	7.30	8.04	▲ 0.74
ラヌバイレス指数	97.8	97.7	0.1

## 公債費及び公債費に準ずる費用の分析

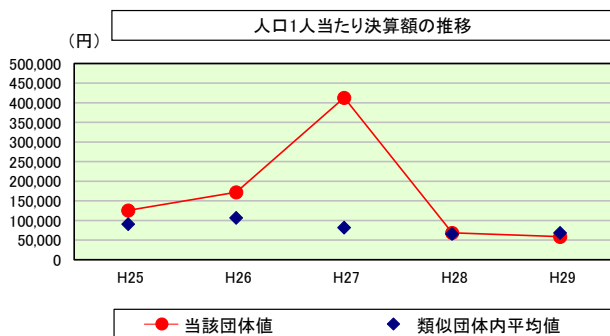


## 公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	1,315,973	45,947	49,627	▲ 7.4
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	6,667	233	64	264.1
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	570,627	19,923	20,466	▲ 2.7
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	12,689	443	2,860	▲ 84.5
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	-	-	677	-
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	4	-
▲特定財源の額	▲ 51,922	▲ 1,813	▲ 4,704	▲ 61.5
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 1,300,679	▲ 45,413	▲ 47,177	▲ 3.7
合計	553,355	19,320	21,817	▲ 11.4

※平成30年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

## (参考) 普通建設事業費の分析



## 普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H25	3,748,618	125,750	115.5	90,961	20.1	95.4
うち単独分	685,801	23,006	100.4	37,720	7.1	93.3
H26	5,066,656	172,095	36.9	106,614	17.2	19.7
うち単独分	759,282	25,790	12.1	45,545	20.7	8.6
H27	12,073,885	413,037	140.0	81,768	23.3	163.3
うち単独分	721,124	24,669	▲ 4.3	37,917	▲ 16.7	12.4
H28	1,983,395	68,438	▲ 83.4	65,876	▲ 19.4	▲ 64.0
うち単独分	704,331	24,303	▲ 1.5	36,484	▲ 3.8	2.3
H29	1,685,037	58,833	▲ 14.0	68,468	3.9	▲ 17.9
うち単独分	920,479	32,139	32.2	34,140	▲ 6.4	38.6
過去5年間平均	4,911,518	167,631	39.0	82,737	▲ 0.3	39.3
うち単独分	758,203	25,981	27.8	38,361	0.2	27.6

# (5)市町村性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

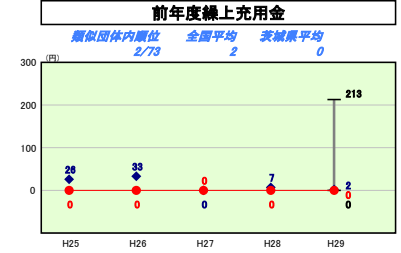
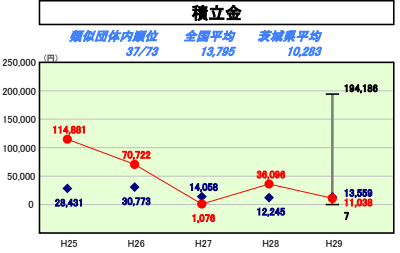
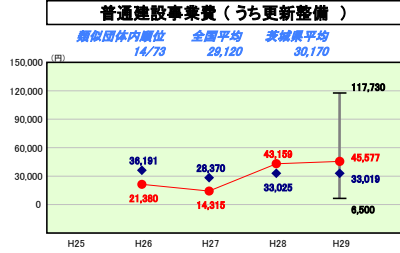
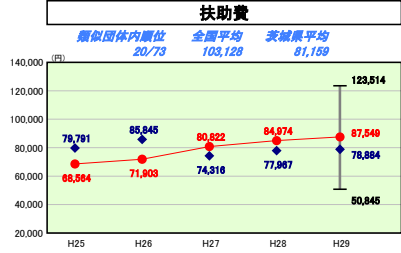
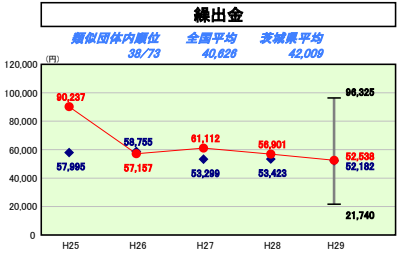
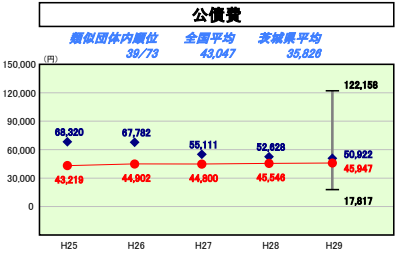
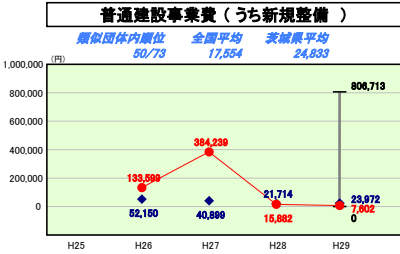
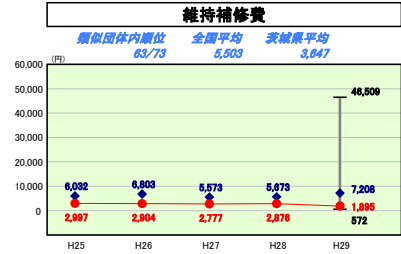
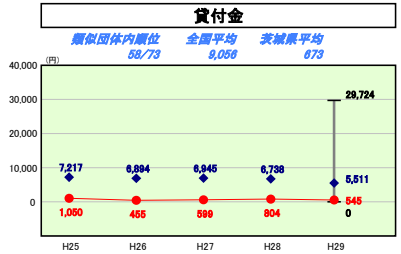
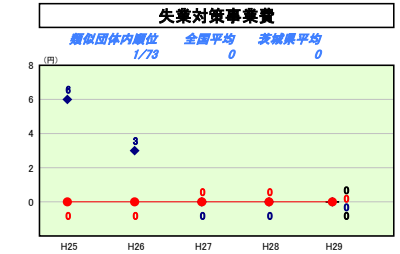
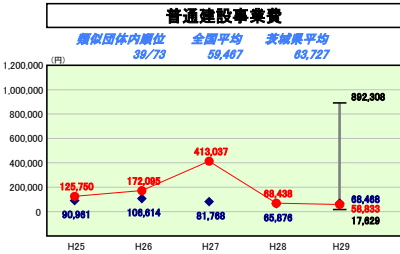
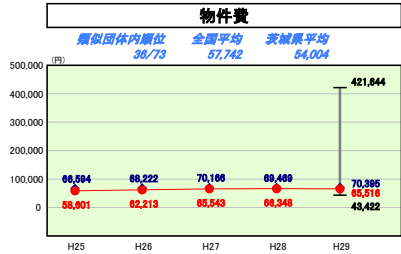
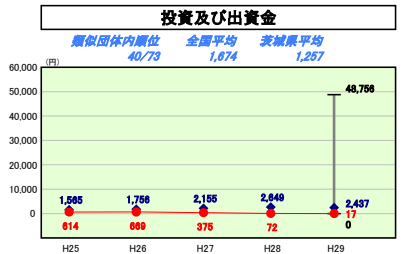
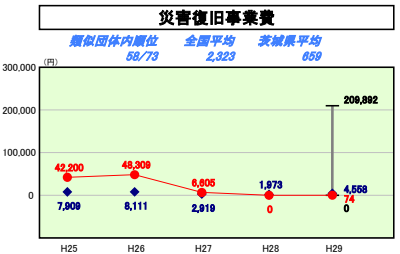
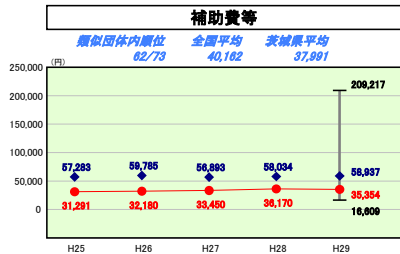
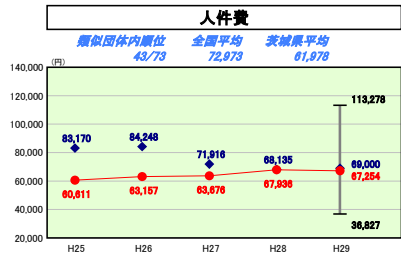
平成29年度

茨城県潮来市

人口	28,641人(980.1.1現在)	実収赤字比率	-	%
うち日本人	28,317人(980.1.1現在)	連結実収赤字比率	-	%
面積	71.40km <sup>2</sup>	実収公債費比率	7.6	%
歳入総額	13,497,315千円	経費負担比率	52.1	%
歳出総額	12,217,091千円	市町村類型	H25 I-1 H26 I-1 H27 I-2	
実収収支	1,190,061千円	(年度毎)	H28 I-2 H29 I-2	
標準財政規模	7,368,593千円			
地方債現在高	11,791,128千円			



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成29年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



#### 性質別歳出の分析

前年度と比較すると、積立金は25,058円減少し、主な要因は、復興交付基金への積立金が減少したことである。貸付金は259円減少し、主な要因は、災害支援資金貸付金が減少したことである。普通建設事業費(うち新規整備)は8,290円減少し、主な要因は、道路新設改良事業に係る経費が減少したことである。繰出金は4,363円減少し、主な要因は、国民健康保険特別会計への繰出金が減少したことである。災害復旧事業費は74円増加し、主な要因は、台風21号による被害に対する復旧工事を行ったことである。東日本大震災に係る復旧復興事業が一段落したことに伴い減少傾向にある費目もあるが、義務的経費や公共施設の維持管理に係る費目は類似団体と比較しても高い傾向にあり、今後も施策の厳選や優先順位の検討等を行い、適正な歳出に努めていく。

# (6)市町村目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

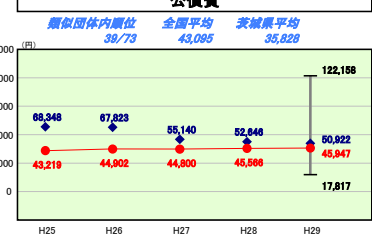
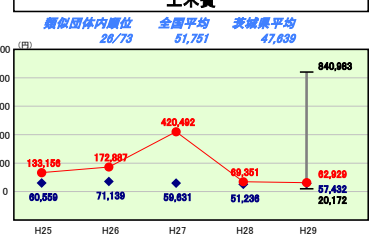
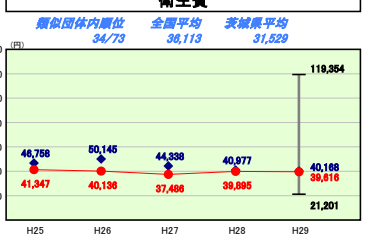
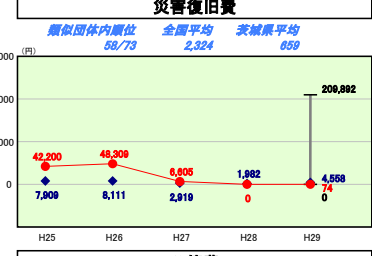
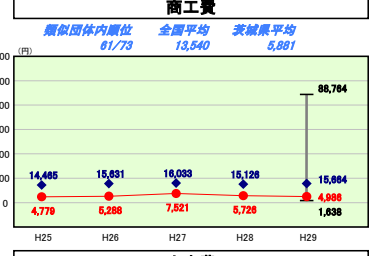
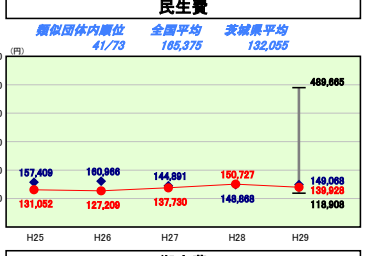
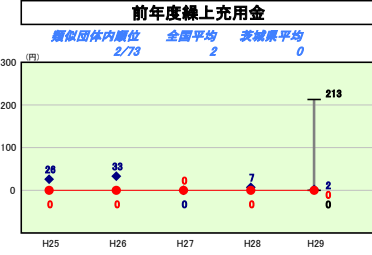
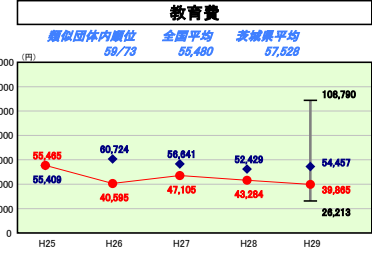
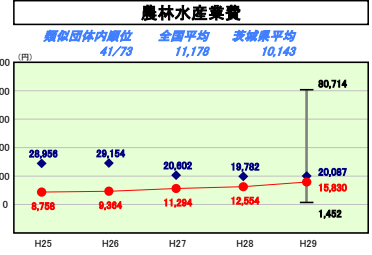
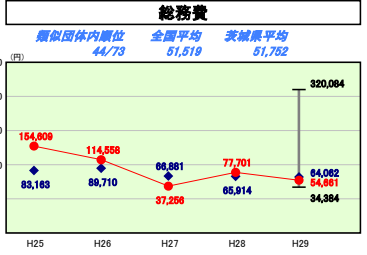
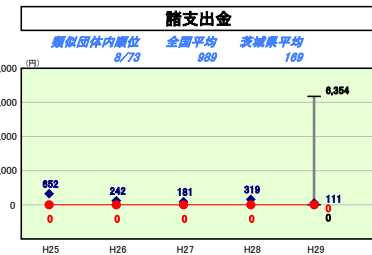
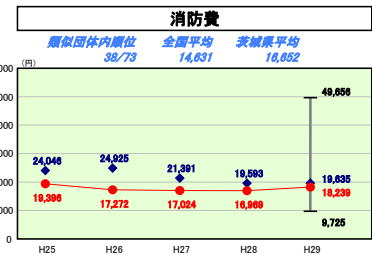
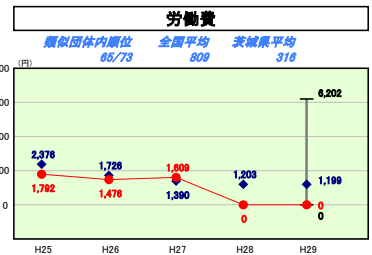
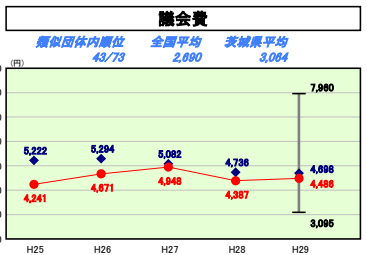
平成29年度

茨城県潮来市

人口	28,641人(980.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	28,317人(980.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	71.40km <sup>2</sup>	実質公債費比率	7.6	%
歳入総額	13,497,315千円	将来負担比率	52.1	%
歳出総額	12,217,091千円	市町村類型	H25 I-1 H26 I-1 H27 I-2	
実質収支	1,190,061千円	(年度毎)	H28 I-2 H29 I-2	
標準財政規模	7,368,593千円			
地方債現在高	11,791,128千円			



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成29年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



**目的別歳出の分析値**  
 前年度と比較すると、総務費は23,040円減少し、主な要因は、復興交付金基金への積立金が減少したことである。農林水産業費は3,276円増加し、主な要因は、道の駅はこの改修事業に係る経費が増加したことである。商工費は740円減少し、主な要因は、地方創生加速化交付金を活用した観光事業が、平成28年度に終了したことによるものである。土木費は6,422円減少し、主な要因は、日の出地区における液状化対策事業に係る経費が減少したことである。教育費は3,419円減少し、主な要因は、延方小学校の改修事業が、平成28年度に終了したことによるものである。東日本大震災に係る復旧復興事業が一段落したこともあり、どの費目についても類似団体比較においてほぼ同様の金額となっている。各年度、事業の内容や規模により金額の増減はあるが、その他、各特別会計への繰入金等も大きな割合を占めており、一般会計だけでなく市全体として歳出管理に努めている。

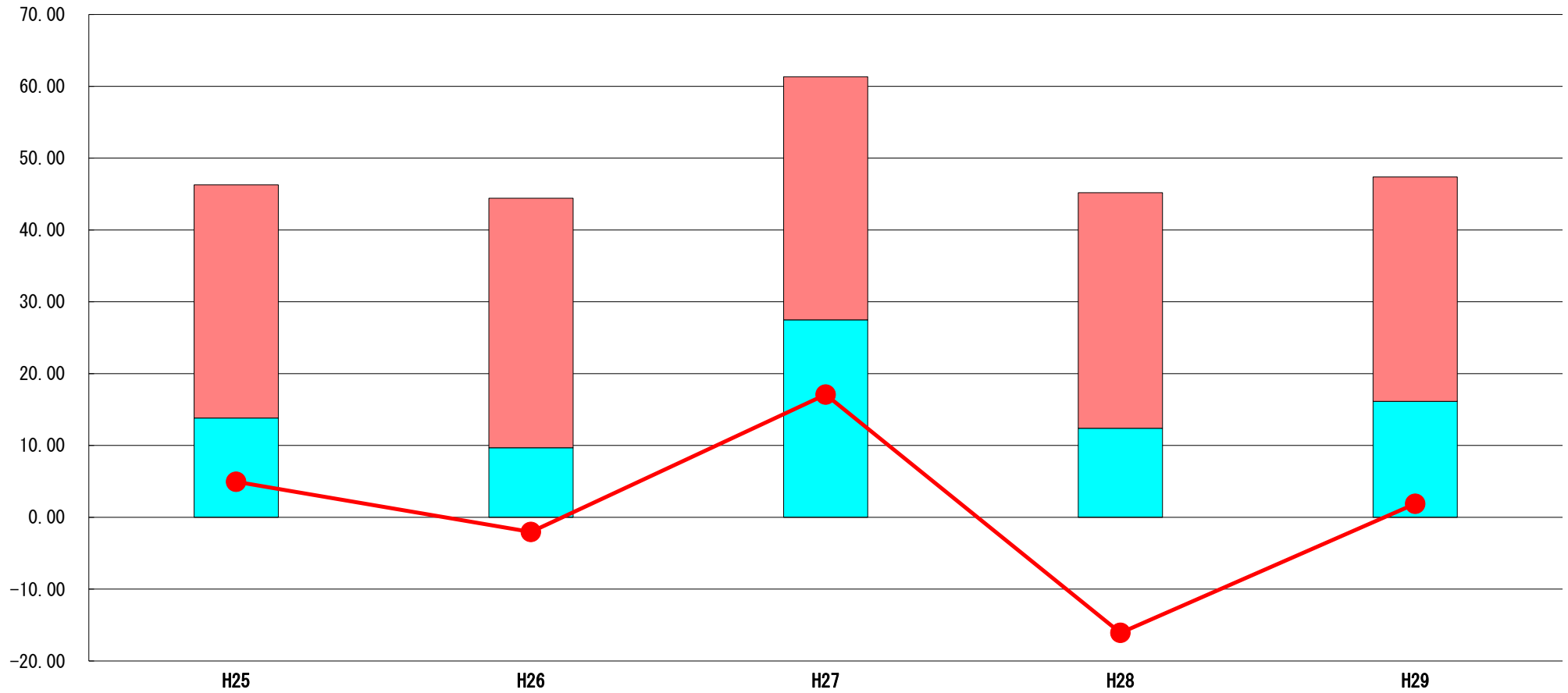


# (7) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）




平成29年度

茨城県潮来市

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

区分	年度	H25	H26	H27	H28	H29
 財政調整基金残高		32.47	34.76	33.86	32.80	31.22
 実質収支額		13.81	9.67	27.48	12.39	16.15
 実質単年度収支		4.95	▲ 2.04	17.09	▲ 16.09	1.89

### 分析欄

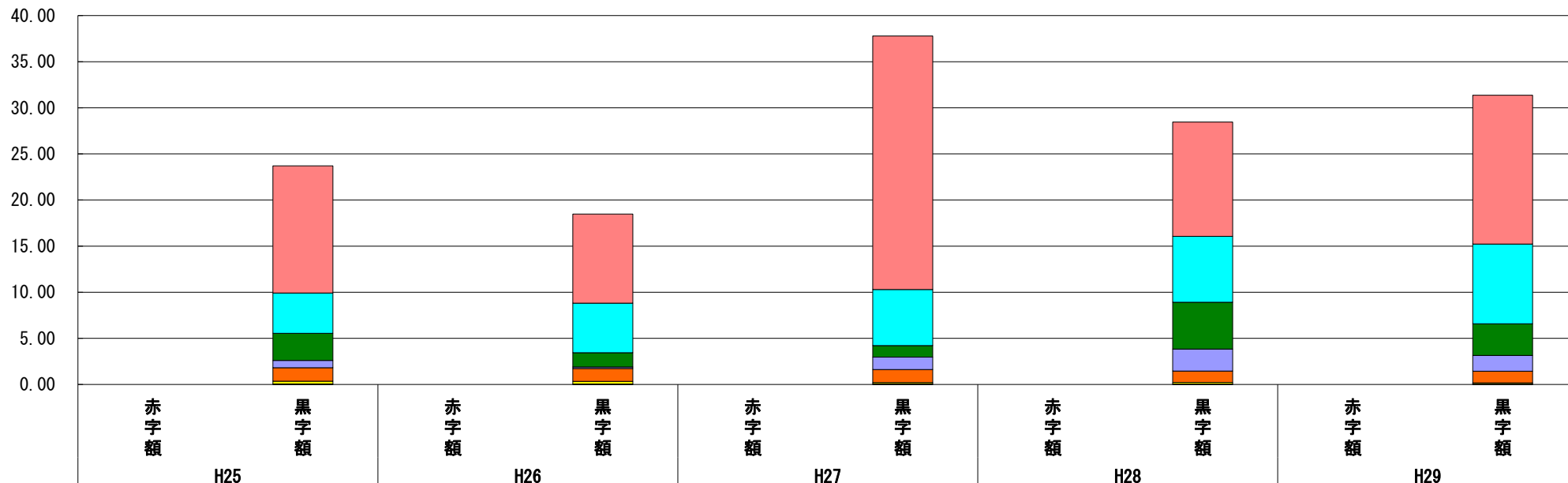
一般会計の実質収支においては、平成23年度から災害復旧復興予算により規模が増加し、標準財政規模に対する比率は高い状態で推移してきている。財政調整基金についても、平成20年度に枯渇状態となったが、公債費の抑制や人件費の削減等、財政健全化に努めたことで、財政調整基金残高は増加した。今後も義務的経費の増加や、それに伴う財政調整基金の減少が見込まれることから、引き続き、財政運営の適正化に努めていく。

## (8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

平成29年度

茨城県潮来市

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

会計	年度	H25	H26	H27	H28	H29
一般会計		13.80	9.66	27.48	12.39	16.14
潮来市水道事業会計		4.36	5.38	6.08	7.16	8.64
潮来市国民健康保険特別会計		2.95	1.54	1.26	5.08	3.43
潮来市介護保険特別会計		0.78	0.17	1.34	2.37	1.71
潮来市工業用水道事業会計		1.46	1.40	1.41	1.23	1.27
潮来市下水道事業特別会計		0.31	0.29	0.16	0.19	0.14
潮来市後期高齢者医療特別会計		0.04	0.03	0.04	0.03	0.02
潮来市農業集落排水事業特別会計		0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
その他会計（赤字）		-	-	-	-	-
その他会計（黒字）		-	-	-	-	-

### 分析欄

一般会計や各特別会計において、赤字額や資金不足は生じておらず、連結においても赤字額は生じていない。しかし、過去においては、国民健康保険特別会計について、平成23年度から平成24年度、2年連続して赤字を計上し、一般会計からの財源対策繰入金により赤字を解消としたという経緯もある。また、一般会計においては、平成21年度からの主に公債費の抑制と、人件費の削減等による効果が表れているものと考えられるが、今後も引き続き、各会計において財政の健全化に努めていく必要がある。

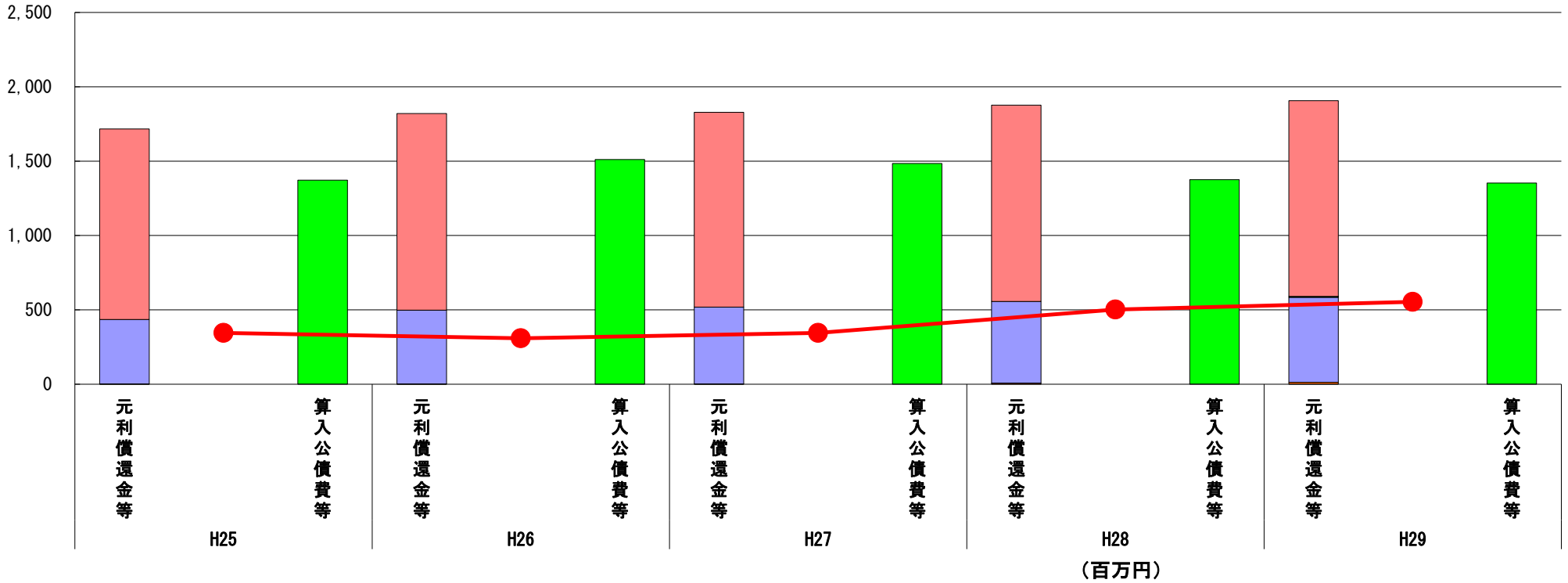
※平成30年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

# (9) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成29年度

茨城県潮来市

(百万円)



分子の構造		年度	H25	H26	H27	H28	H29
元利償還金等 (A)	元利償還金		1,282	1,322	1,310	1,320	1,316
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	7
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		433	496	517	549	571
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		2	2	2	8	13
	債務負担行為に基づく支出額		-	-	-	-	-
	一時借入金の利子		-	-	-	-	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		1,372	1,511	1,484	1,375	1,353
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		345	309	345	502	554

**分析欄**

元利償還金については、近年、地方債の新規発行額を元利償還金額以内とする等、公債費の抑制を行っている。一方で、公営企業債の元利償還金に対する繰入金については増加傾向にあり、今後も、緊急性や優先順位を十分検討し、市全体として、起債に大きく頼ることのない財政運営に努めていく。

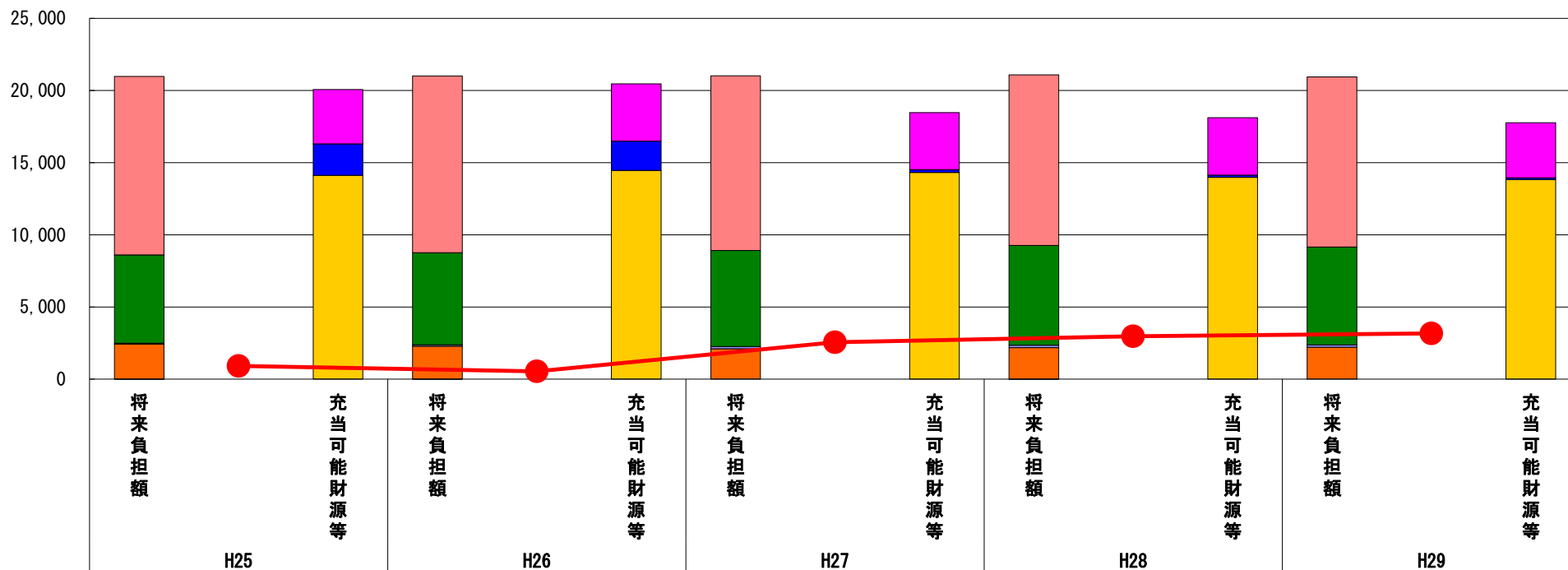
※平成30年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

# (10) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成29年度

茨城県潮来市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H25	H26	H27	H28	H29
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		12,367	12,248	12,109	11,826	11,791
	債務負担行為に基づく支出予定額		-	-	-	-	-
	公営企業債等繰入見込額		6,124	6,377	6,656	6,914	6,786
	組合等負担等見込額		67	98	149	161	152
	退職手当負担見込額		2,413	2,279	2,108	2,180	2,212
	設立法人等の負債額等負担見込額		6	4	-	5	-
	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		3,759	3,981	3,948	3,977	3,824
	充当可能特定歳入		2,178	2,020	200	151	124
	基準財政需要額算入見込額		14,129	14,465	14,323	13,987	13,826
(A) - (B)	将来負担比率の分子		911	539	2,551	2,970	3,167

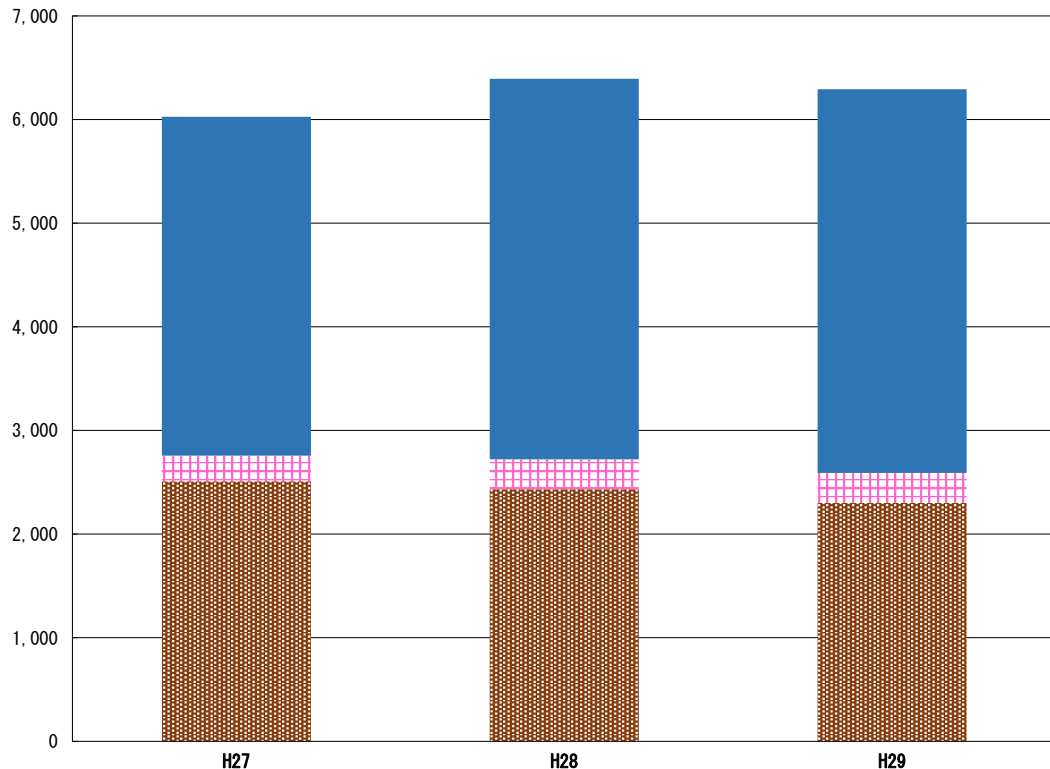
## 分析欄

充当可能特定歳入については、平成28年度に都市計画税を廃止したことで、都市計画税収入を見込まなくなったことにより、平成27年度の算定から減少した。平成29年度は、財政調整基金残高の減少等から、平成28年度より減少した。今後も義務的経費の増加や、それに伴う財政調整基金の減少が見込まれることから、施策の厳選や事務事業の見直し等により、財政の健全化に努める。

※平成30年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

# (11) 基金残高（東日本大震災分を含む）に係る経年分析（市町村）

（百万円）



（百万円）

区分	年度	H27	H28	H29
財政調整基金		2,509	2,433	2,301
減債基金		249	289	289
その他特定目的基金		3,269	3,672	3,703
復興交付金基金		1,254	1,621	1,692
地域振興基金		820	777	764
庁舎建設基金		432	432	411
ふるさと創生基金		307	306	280
地域福祉基金		291	234	214
基金残高合計		6,026	6,394	6,293

平成29年度

茨城県潮来市

## 基金全体

（増減理由）

復興交付金基金へのおよそ240百万円の積立てや、ふるさと応援基金へのおよそ57百万円の積立て等を行った一方、財政調整基金をおよそ132百万円取崩したことをはじめ、各種基金の取崩しを行い、全体としてはおよそ91百万円の減となった。

（今後の方針）

復興交付金事業の精算に伴う復興交付金基金の減少や、一括償還による減債基金の減少等、基金の全体規模は縮小していく予定である。毎年度の財源不足を補うために財政調整基金も減少していくことが予想され、各種目的基金の使途を検討し活用していくことが必要と思われる。

## 財政調整基金

（増減理由）

取崩しにより、およそ132百万円減少した。

（今後の方針）

財政調整基金は、市の標準財政規模の2割程度を目途に積み立てる。

## 減債基金

（増減理由）

増減なし。

（今後の方針）

平成32年度に「大好きいばらき県民債」の一括償還を予定している。

## その他特定目的基金

（基金の使途）

復興交付金基金：東日本大震災からの復興事業の財源に充てられる。  
ふるさと応援基金：潮来市のふるさとづくりに対して寄付された寄付金で、福祉・観光・教育等の各種事業の財源に充てられる。

（増減理由）

復興交付金基金：復興交付金事業の精算による積戻しにより増加した。  
ふるさと応援基金：ふるさと納税による寄附金の積立により増加した。

（今後の方針）

復興交付金基金：復興交付金事業の精算として、平成30年度末に復興交付金およそ1,600百万円を返還する予定である。  
ふるさと応援基金：各種目的に該当する事業に、毎年度充てていく予定である。